

第84期 報告書

2016.4.1 ▶ 2017.3.31

The Way
Of Mutual Progress

 ユシロ化学工業株式会社

証券コード：5013

株主の皆様へ



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、当社第84期の事業の概況についてご報告申し上げます。

代表取締役社長 大 須 栄 一

当連結会計年度における我が国の経済は、米国・中国を中心に輸出が緩やかに回復しており、個人消費も堅調な雇用・所得情勢を受けて持ち直しております。世界経済においても米国新政権による政策動向の不透明感はあるものの、底堅く推移しました。

このような環境下、売上高は前期比3.5%減の29,605百万円となりました。また、営業利益は前期比12.3%増の2,437百万円となりました。経常利益は前期比2.4%増の3,017百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は、前年に日本シー・ビー・ケミカル株式会社の子会社化による負ののれん発生益541百万円を計上した影響で、前期比14.8%減の1,697百万円となりました。

平成29年度の世界経済は、トランプ相場の変調による経済への影響及び欧州各国で実施される選挙結果による影響も予想されますが、北米・東南アジアを中心に緩やかな景気回復が続くと思われます。また日本経済におきましても、堅調な雇用・所得情勢を受けて個人消費が持ち直しており、世界経済同様に緩やかな回復基調が続くと予想されます。

このような状況下、次期の連結業績の見通しについては、売上高31,400百万円（前期比6.1%増）、営業利益は2,600百万円（前期比6.7%増）、経常利益は

3,200百万円（前期比6.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は2,000百万円（前期比17.8%増）を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

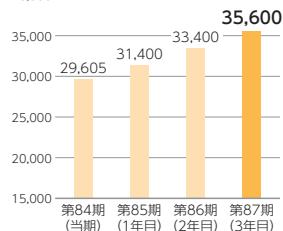
平成29年6月

第18次中期経営計画

ユシログループは、2017年度から2019年度までの3カ年を対象とした中期経営計画を策定いたしました。第18次中期経営計画では、持続的成長を実現するため、市場が拡大する地域へ積極的な経営資源の投入を継続し、グローバルでの販売力・技術力強化及び戦略的投資により当社グループの総合力強化を図ってまいります。

売上高(連結)

単位:百万円



経常利益(連結)

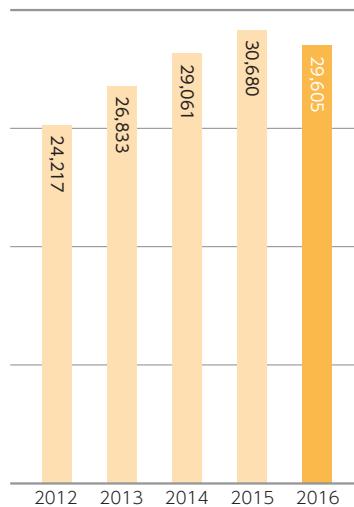
単位:百万円



連結財務ハイライト

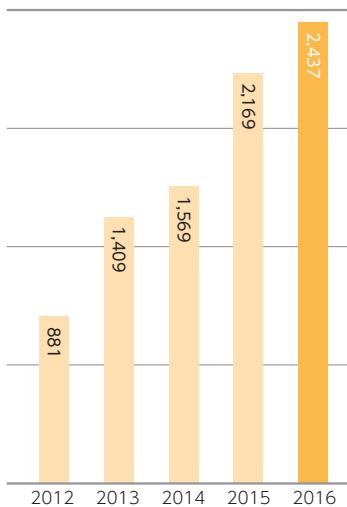
■ 売上高

(単位：百万円)



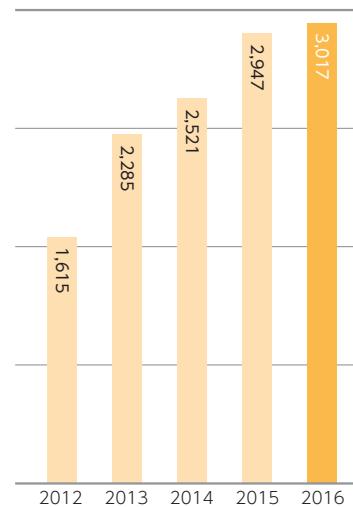
■ 営業利益

(単位：百万円)



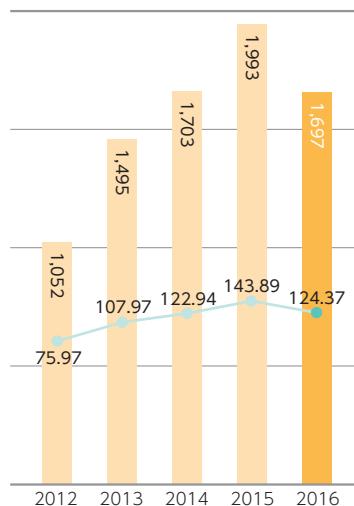
■ 経常利益

(単位：百万円)



■ 親会社株主に帰属する当期純利益／ ● 1株当たり当期純利益

(単位：百万円／%)



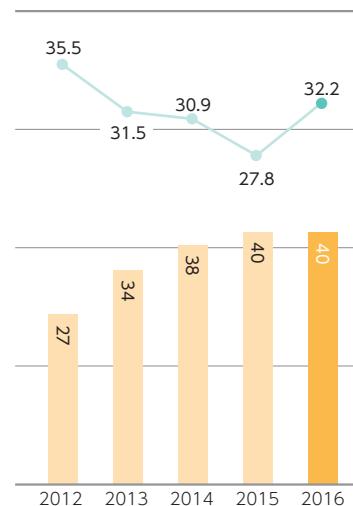
■ 純資産／● 自己資本比率

(単位：百万円／%)

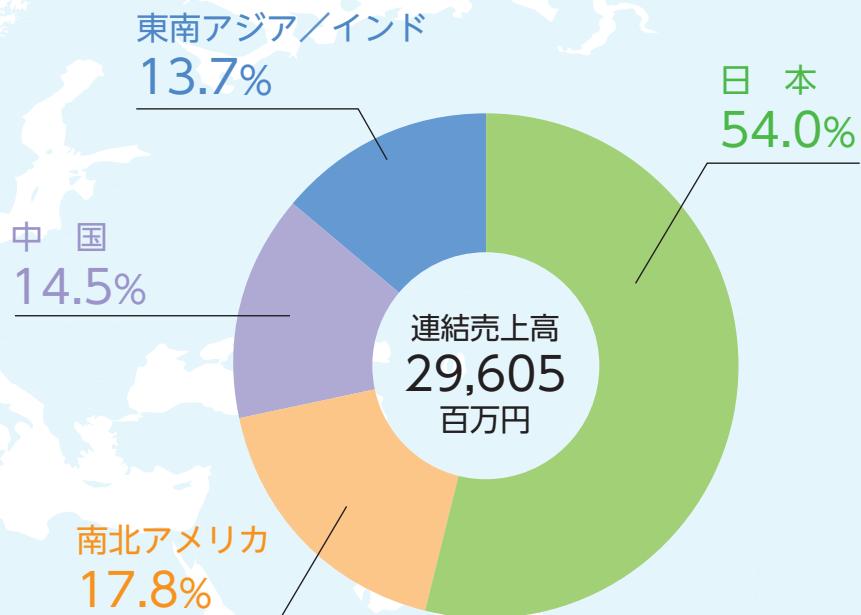


■ 1株当たり年間配当額／● 配当性向

(単位：円／%)



セグメント情報



日本

売上高



セグメント利益(営業利益)



拡販に努めた結果数量ベースでは前期を上回りましたが、価格改定の影響によりセグメント売上高は前期比4.5%減の15,993百万円に留まりました。セグメント利益は原価低減等に努めた結果、前期比25.3%増の754百万円となりました。

南北アメリカ

売上高



セグメント利益(営業利益)



北米地区の好調な自動車生産に牽引され現地通貨ベースでは前年実績を上回っているものの、為替の影響によりセグメント売上高は前期比1.3%減の5,273百万円となりました。セグメント利益は原材料価格の下落及びメキシコ子会社の黒字化により前期比52.4%増の476百万円となりました。

中国

売上高



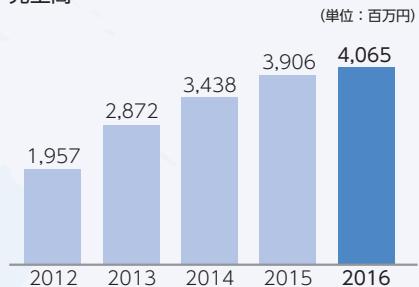
セグメント利益(営業利益)



鉄鋼関連の減少を自動車関連の売上が補う形で現地通貨ベースでは前年を上回りましたが、為替の影響によりセグメント売上高は前期比8.8%減の4,273百万円となりました。セグメント利益も売上高と同様為替の影響により、前期比7.2%減の701百万円となりました。

東南アジア/インド

売上高



セグメント利益(営業利益)



各国での既存顧客のシェアアップによりセグメント売上高は前期比4.1%増の4,065百万円となりました。セグメント利益は、マレーシア及びインドネシアの子会社で大きく利益を伸ばしたもののインド子会社の赤字影響により前期比1.2%減の498百万円となりました。

連結財務諸表（概要）

連結貸借対照表の概要

(単位：百万円)

科目	前期	当期	増減率 (%)
	平成28年3月31日現在	平成29年3月31日現在	
流動資産	16,565	17,913	8.1
固定資産	22,602	22,646	0.2
有形固定資産	11,671	11,222	△3.9
無形固定資産	695	551	△20.6
投資その他の資産	10,235	10,872	6.2
流動負債	7,703	7,843	1.8
固定負債	2,927	3,397	16.1
純資産	28,536	29,318	2.7
総資産	39,168	40,560	3.6

ポイント

流動資産は前期末に比べ8.1%増加しました。主な要因は、現金及び預金が1,568百万円増加したことです。

固定負債は前期末に比べ16.1%増加しました。主な要因は、厚生年金基金解散損失引当金を294百万円計上したことです。

連結損益計算書の概要

(単位：百万円)

科目	前期	当期	増減率 (%)
	平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで	平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで	
売上高	30,680	29,605	△3.5
売上総利益	9,290	9,666	4.1
販売費及び一般管理費	7,120	7,229	1.5
営業利益	2,169	2,437	12.3
経常利益	2,947	3,017	2.4
親会社株主に帰属する当期純利益	1,993	1,697	△14.8

ポイント

売上高は日本国内の販売価格改定の影響及び円高の影響により前期に比べ3.5%減少しました。

営業利益は原価低減及び原材料価格の下落により前期に比べ12.3%増加しました。

親会社株主に帰属する当期純利益は前年に負のれん発生益541百万円を計上した影響で、前期に比べ14.8%減少しました。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで	平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,928	2,800
投資活動によるキャッシュ・フロー	△92	△46
財務活動によるキャッシュ・フロー	△923	△1,496
現金及び現金同等物に係る換算差額	△284	△259
現金及び現金同等物の増減額	1,628	998
現金及び現金同等物の期首残高	5,152	6,780
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	255
現金及び現金同等物の期末残高	6,780	8,034

ポイント

税金等調整前当期純利益 +2,895

有形固定資産の売却による収入 +334

投資有価証券の売却による収入 +179

有形固定資産の取得による支出 △508

定期預金の預入による支出 △109

配当金の支払額 △550

自己株式の取得による支出 △375

非支配株主への配当金の支払額 △260

長期借入金の返済による支出 △229

会社データ (平成29年3月31日現在)

■ 会社概要

社名	ユシロ化学工業株式会社 YUSHIRO CHEMICAL INDUSTRY CO.,LTD.
本社所在地	〒146-8510 東京都大田区千鳥2-34-16 TEL(03) 3750-6761 FAX(03) 3750-1146
ホームページ	http://www.yushiro.co.jp/
設立	1944年(昭和19年)7月24日
資本金	4,249百万円
従業員数	304名(連結917名)
当社グループの 主な製品等	金属加工油剤関連 切削油剤、研削油剤、塑性加工油剤、アルミ離型剤、 金属表面処理剤、その他関連製品 ビルメンテナンス関連 樹脂ワックス、洗剤、その他関連製品及び機器

■ 支店・事業所

神奈川テクニカルセンター	神奈川県高座郡寒川町田端1580
名古屋テクニカルセンター	愛知県名古屋市長区鳴海町杜若100
富士工場	静岡県駿東郡小山町湯船字湯船原1157-2
兵庫工場	兵庫県神崎郡福崎町西治字拝尾817-1
東京支店	東京都大田区千鳥2-34-16
名古屋支店	愛知県名古屋市長区鳴海町杜若100
大阪支店	大阪府枚方市池之宮3-5-1
北海道営業所	北海道苫小牧市表町5-4-7苫小牧海晃第一ビルディング3階
東北営業所	宮城県仙台市宮城野区宮城野1-26-20
北関東営業所	栃木県小山市大字横倉新田470-5
浜松営業所	静岡県浜松市中区高丘西1-3-24
福山営業所	広島県福山市大門町野々浜向山270-1
広島営業所	広島県広島市南区段原2-14-11田中ビル
九州営業所	福岡県福岡市博多区東比恵3-11-2

■ 役員 (平成29年6月27日現在)

代表取締役社長	大胡 栄一
常務取締役	有坂 昌規
取締役	濃元 伸二
取締役	菊池 慎吾
取締役	石川 拓哉
取締役	高橋 誠司
取締役*	片山 久郎
取締役(監査等委員)*	飯塚 佳都子
取締役(監査等委員)*	野末 昭孝
取締役(監査等委員)*	山口 豊
取締役(監査等委員)	山崎 敏男

*は社外取締役です。

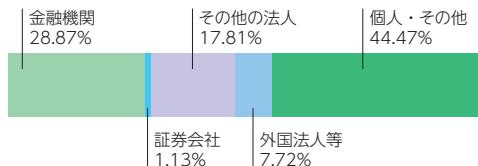
■ 連結子会社

ユシロ運送株式会社
ユシロ・ゼネラルサービス株式会社
日本シー・ビー・ケミカル株式会社
ユシロマニュファクチャリングアメリカInc.[米国]
ユシロブラジルインダストリアケミカLtda.[ブラジル]
ユシロメキシコS.A. de C.V.[メキシコ]
上海尤希路化学工業有限公司[中国]
啓東尤希路化学工業有限公司[中国]
広州尤希路油剤有限公司[中国]
泰興西碧化学有限公司[中国]
ユシロマレーシアSdn.Bhd.[マレーシア]
ユシロ(タイランド)Co.,Ltd.[タイ]
Siam Cee-Bee Chemical Co.,Ltd.[タイ]
ユシロインディアカンパニーPvt.Ltd.[インド]
PT. ユシロインドネシア[インドネシア]
■ 持分法適用関連会社
汎宇化学工業株式会社[韓国]
株式会社汎宇[韓国]
三宜油化股份有限公司[台湾]

■株式の状況 (平成29年3月31日現在)

発行可能株式総数	29,180,000株
発行済株式数	13,900,065株
株主数	4,841名 (前期末比642名減)

所有者別分布状況



大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本生命保険相互会社	1,057	7.78
ユシロ化学工業取引先持株会	815	6.00
株式会社三井住友銀行	622	4.58
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託)	589	4.34
スズキ株式会社	549	4.04
ユシロ化学工業従業員持株会	322	2.37
株式会社三菱東京UFJ銀行	316	2.32
三井住友海上火災保険株式会社	286	2.10
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託)	248	1.82
長瀬産業株式会社	243	1.79

※当社は、自己株式322千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
また、持株比率は、自己株式(322千株)を除いて算出しております。

■株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

定時株主総会の基準日 3月31日

期末配当の基準日 3月31日

中間配当の基準日 9月30日

証券コード 5013

単元株式数 100株

株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号
電話 0120-232-711 (通話料無料)

公告方法 電子公告とし、当社ホームページ (<http://www.yushiro.co.jp/>) に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

 ユシロ化学工業株式会社

URL <http://www.yushiro.co.jp/>



UD FONT

この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC®認証紙を使用しています。
見やすく読みまちがいにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。